

平成29年度 地域学校協働活動事例

平成29年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

市町村名	鹿角市
活動名	尾去沢地域学校協働活動
関係する学校	尾去沢小学校・尾去沢中学校
こんな活動です！	地域の願いを学校に 学校の元気を地域に 一緒に学び体験し 「子どもをまん中」にして地域の一体感を
  ふれあいかなやまスクール（地域ボランティアによる支援） 尾去沢小学校 かなやまソーラン（地域祭典での披露） 尾去沢中学校・尾去沢小学校	
概要・経緯	平成23年度に尾去沢中学校区の学校支援本部が立ち上げられ、尾去沢小学校と尾去沢中学校に同一の地域コーディネーターを配置し、学校からの要望や希望に即した学校支援と学校による地域貢献の橋渡しを行っている。尾去沢市民センターを拠点にしているサークルのメンバーなどが、ボランティアとして正課クラブの指導支援をしている。加えて、郷土学習や農業体験学習に際しては、多くの地域人材がボランティアとして参画している。 また、祭典の際は、全ての小中学生が参加して地域行事を盛り上げ、地域文化の保存継承を通して世代間交流も盛んである。中学生は学校として史跡ボランティアガイドに取り組み、地域のよさを再確認し、自信をもって発信している。
活動の特徴・工夫	【特徴的な活動内容】 ○地域人材が指導者になって地域の産業や伝統文化を伝える小学校の体験学習「かなやまスクール」 ○保育園児から中学生まで全ての子どもが練習し祭典で披露する「かなやまソーラン」 ○市民センターの職員も加わり、地域の教育課題を議論し健全育成やキャリア教育の推進を図る「共育を考える会」の定期開催 ○史跡尾去沢鉾山での中学生によるボランティアガイド ○学校施設を開放し、学校と自治会が協働して実施する少年少女球技大会や地域スキー大会などの地域社会体育事業 ○社会福祉担当課と協働した高齢者家庭での除雪ボランティア 【実施に当たっての工夫】 地域コーディネーターは、図書整理や賞状書き、通学時の見守りなど、教職員の要望を基にした支援のコーディネートをしており、授業の際は多くの地域ボランティアが教師と一緒に芸術文化体験や農業体験学習を支援している。学校とコーディネーター、そして市民センターの職員の三者がバランスよく連携し、学習サークルのメンバーが日頃から学校で活動できる体制を整えている。学校行事と地域行事の日程調整や事業の周知に関しては、両校教員と市民センターの職員が適切に連絡を取り合い連携に努めている。尾去沢地域づくり協議会の会員でもある地域住民は、地域づくりの観点からも「次代を担う子どもたちの育成」を共通認識しており、地域文化の理解を深め、子どもたちの心を育むための体験・交流機会を住民自ら企画し、学校と密に連携しながら事業展開している。
効果・成果	地域の活性化を重要な課題と捉える尾去沢地域では、児童生徒の成長機会に住民も積極的に参画し、地域が一体となって郷土を担う子どもたちを育てようとしている。児童生徒は地域の大人と交流し、称揚される機会を得ることで自己有用感を感じ、新たな活動への意欲をもつようになってきている。学校側も率先して地域行事への参加を奨励しているので地域社会からも大きな信頼を得ている。過疎化が顕著な当地区にあっては、祭典等の地域文化の継承は子どもたちの参加なくしては成り立たないが、地域行事で子どもたちの元気な姿を見ることは住民の喜びにつながっている。当たり前のように地域と学校が支え合う体制ができています。また、地域の史跡を生かしたボランティアガイド活動は生徒の表現力の育成や地域理解にもつながっており、企業を含めた地域と学校の協働の成果が見られる。